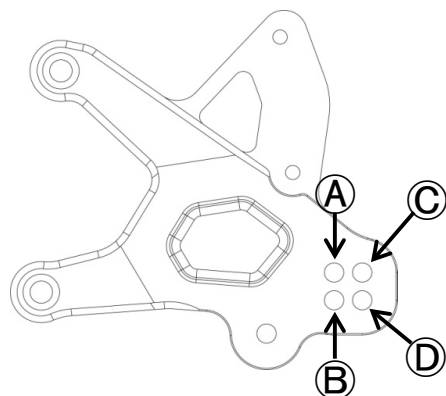


この度はアエラ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品の取り付けには、専門の知識・技術を持たれる方が作業に当たっていただく事をお勧め致します。取り付け作業の不備によるトラブル、破損、事故等に関しまして一切の責任を負いかねますので予めご了承下さい。

AE-10096
参考作業時間: 1h



ステップベースの取り付け位置(純正比)

- ・ A: 35mm後ろ、30mm上
- ・ B: 35mm後ろ、20mm上
- ・ C: 45mm後ろ、30mm上
- ・ D: 45mm後ろ、20mm上

出荷時設定位置: A

※締め付けトルク: 18Nm

※ロックタイト243(中強度)相当推奨

← 車両前方



ペダル先位置変更

- ・ペダル先を任意の位置にスライドさせることで、ペダルとステップバーとの距離を調整する事が出来ます。

※ロックタイト243(中強度)相当推奨



取り付けにあたってのご注意

- ・走行直後は、各パーツが熱くなり火傷の危険性があります、必ず冷えている状態で作業を行って下さい。
- ・作業は必ず安全な場所で車体を安定させ、十分注意して作業を行って下さい。
- ・メンテナンス不良、取り付け作業上の不備、誤った使用での保証は致しません。
- ・本製品の取り付け後の返品はお受けできません。
- ・金属部品のエッジ、角などには注意して下さい。
- ・部品の曲がり、変形などが発生した場合は速やかに補修を行って下さい。
- ・組み付け作業を行う際はメーカー発行のサービスマニュアル(整備要領書)を熟読し各部の締め付けトルクを守って下さい。

※締め付け参考トルクはネジが緩まない事を保証するものではありません。

※取り付け後、走行中の振動によって必ずネジは緩みます定期的に点検、増し締めを行って下さい。

※何か問題が発生した場合は、速やかに使用を中止し、カスノモーターサイクル アエラ事業部までご連絡下さい。

アルマイト製品について

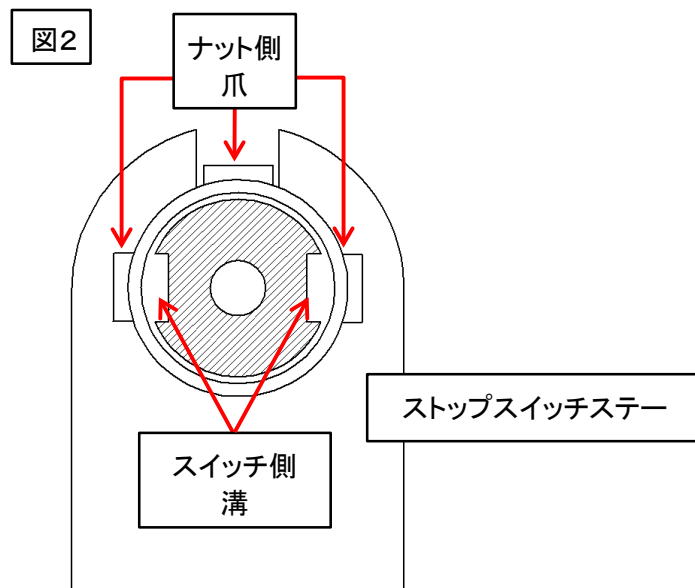
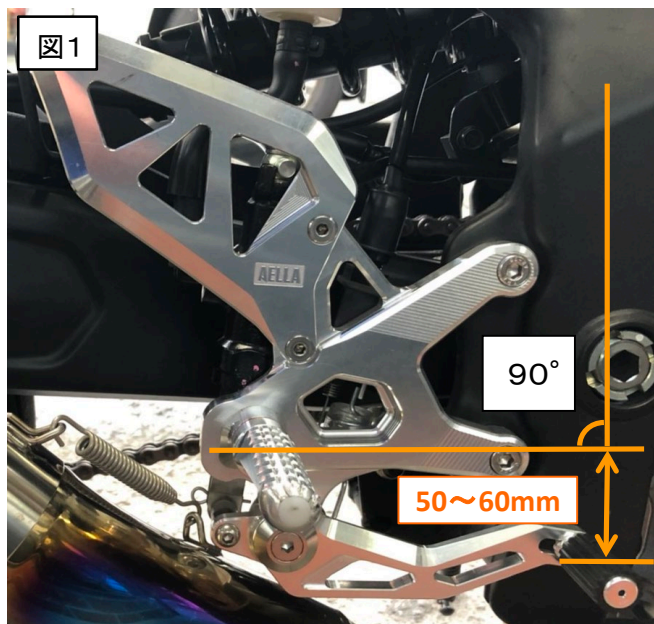
- ・アルミニウムの表面を電気化学的に酸化させ、皮膜を生成させたものです。
- ・着色アルマイトについては塗装の様な微妙な調色はできません。また使用するアルミの材料によっても色が違ってきます。
- ・着色アルマイトは、紫外線、熱、薬品、洗剤などの要因で色褪せやひび割れが発生します。
- ・アルマイト厚みは、0.005mm～0.02mmと非常に薄い為、部品同士が擦れる箇所や乗車時にブーツが擦れる箇所での摩擦で下地のアルミ表面が現れます。
- ・アルマイト処理を行う際に部品を保持する部分(接点)には色が付かない場合があります。

以上はアルマイト処理の性質で避けられない為、クレーム対象にはなりません。予めご了承下さい。

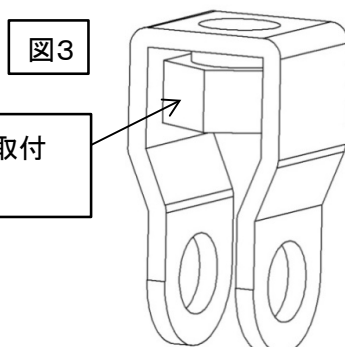
※作業時は平坦な場所でメンテナンススタンドを使用して下さい。

※スイングアームやフレームに傷がつかないように養生してから作業して下さい。

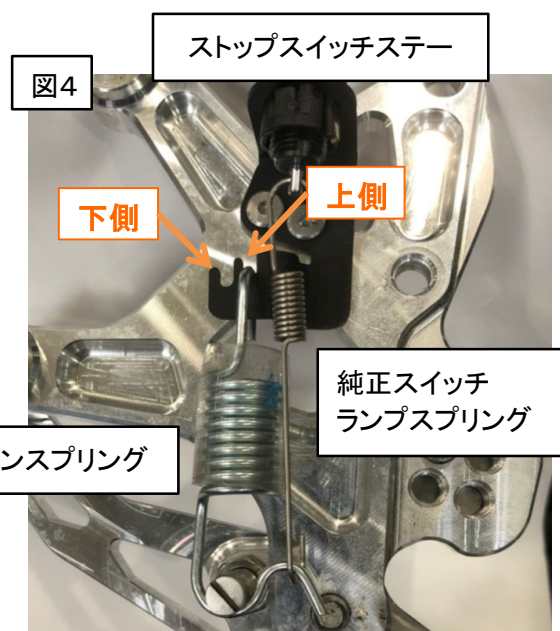
【A】 右(ブレーキ)側



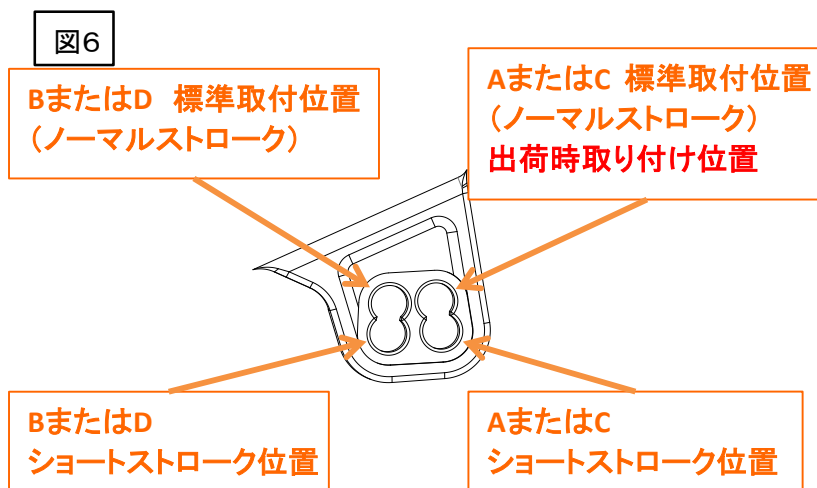
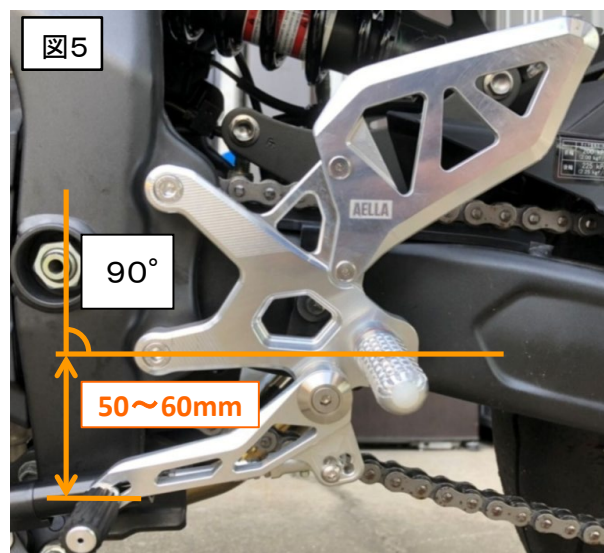
- 1) 純正のステップを取り外し、ストップランプスイッチ、スイッチスプリング、リターンスプリングを取り外して下さい。
※ストップランプスイッチは図2を参考に爪と溝の向きをそろえて取り外して下さい。
- 2) 図3を参照しマスターシリンダー下部のジョイントを部品番号③③に交換し、部品番号③②を取り付けて下さい。
(部品番号③②パイロットナットの取付方向注意して下さい)
- 3) 本製品にストップランプスイッチを差し込み、ステップベースRを仮締めし、ヒールガードとマスターシリンダーを共締めして下さい。
- 4) 図4を参照し③④ストップスイッチステーと②⑧ばねポストに純正リターンスプリングを引っ掛けて下さい。
次に純正スイッチランプスプリングを純正リターンスプリングに引っかけて下さい。
※図4参照 ステップバー位置がAまたはCの場合はストップスイッチステーの上側、BまたはDの場合はストップスイッチステーの下側にリターンスプリングを取り付けて下さい。
- 5) ペダルの高さを調整して下さい。
※図1参照 : 調整幅は50~60mmの範囲で設定して下さい。
- 6) ストップランプスイッチのナット部分を回転させストップランプが正常に作動する様に調整して下さい。
- 7) ベースプレートR固定ボルトを本締めして下さい。
※ネジロック剤(高強度)、締め付けトルク: 18Nm



③②パイロットナットM8の取付方向注意して下さい。



【B】 左(クラッチ)側



「参考」ショートストロークにするとチェンジ操作が若干固くなります。

- 1) 分解図を参照し、KQS部品を組み替えて下さい。(⑩ロッドエンドは図6参照で位置を変更し取り付けて下さい)
 ※②シフトロッドL38へのネジのかかりは両側が均等になる様に取り付けて下さい。
 ※⑩ロッドエンドの取付位置はステップバー位置とストロークにより決定します。図6を参照して下さい。
- 2) ステップベースLを取り付けて下さい。
 ※ネジロック剤(高強度)、締め付けトルク: 18Nm
- 3) ヒールガードLを取り付けて下さい。
 ※ネジロック剤(中強度)、締め付けトルク: 10Nm
- 4) ②シフトロッドL38を回転させペダルの高さを調整し、両側のナットで固定して下さい。ネジかかりが8mm以下になる場合やネジが入りすぎて締め込む事が出来ず、好みの高さに変えられない場合はチェンジアームの角度を変えてから再度調整して下さい。
 ※図5: ペダルの調整幅はブレーキ側と同様、50~60mmの範囲で設定して下さい。
 ※ペダルを動かした際、スムーズに動くか、各部に干渉が無いか確認して下さい。
 ※図6を参照し各ロッド間の角度が出来るだけ90° になるように取り付けて下さい。
 ※試乗しオートシフターが正常に作動するか確認して下さい。



○取り付け後、ブレーキ及びストップランプの作動や各部の干渉、締め忘れが無いかなどの確認を行ってください。
 ※初回を含め、定期的に動作やネジの緩みなどを点検し、必要に応じて増し締めや調整を行ってください。
 ※何か問題が発生した場合は、速やかに使用を中止し弊社までご連絡下さい。